

後期高齢支援システム等標準化検討会 検討・課題一覧

後期高齢支援システム標準化検討会
第6回 ベンダ分科会
2023年11月29日 【資料2】別紙2

令和5年11月29日 現在

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
22	仕掛	R. 4. 12. 21	第4回 検討会	機能・帳票要件	令和4年12月15日の社会保障審議会 医療保険部会において、後期高齢者の負担増に対応するための激変緩和措置の見直し内容が示されたため、今後の法案審議の結果を受けて、関連する機能要件の検討を行う。	<p>【3/1状況更新】 激変緩和措置の具体的条件等が示されていないことから、1.1版では持越し事項とし、最終的に被保険者への通知がどのように見直されるか、また広域標準システムにおける改修内容がどのようになるか等が決定次第、その内容を可能な範囲で標準仕様書1.2版（仮名）（案）という形で公開する。</p> <p>【11/29記入】 標準システムがヘルプデスクサポートサイトに令和5年7月10日に掲載した「令和6年度に向けた賦課業務機能の改修について」にて公開された資料をもとに要件を検討。検討結果を標準仕様書1.2版（案）に反映し、分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。</p>	事務局	R. 5. 9. 30		

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
23	仕掛	R. 4. 12. 21	第4回 検討会	機能・帳票要件	デジタル庁が整理する事項に関してデジタル庁での検討結果を踏まえて標準仕様書に反映を行う。	<p>【3/1状況更新】 実装類型の点検については標準仕様書1.1版（案）に反映済みのため対応完了とする。</p> <p>横並び調整方針に示された統合収滞納管理については、共通機能標準仕様書に規定されることは明確となったため、本紙への記載修正は行うこととするが、連携要件の見直し・検討については、共通機能標準仕様書及びデータ要件・連携要件の改定版が展開され次第、検討するものとする。</p> <p>横並び調整方針に示された保存期間を経過した情報の削除については、分科会、WT資料にて提示した機能・帳票要件の記載（案）のとおりに標準仕様書1.1版（案）に示すこととする。委員の承認が得られればクローズさせていただきたい。</p> <p>指定都市向け機能要件については、デジタル庁より成案が展開され次第、標準仕様書1.1版（案）に取り込み可能かどうか確認して方針を決めることとする。</p> <p>【3/20状況更新】 ①実装類型の点検・・・完了 ②共通機能要件の見直し・・・（案）の内容で取込 ⇒（確定稿）での変更がないかは確認が必要【残】 ③指定都市向け機能要件・・・未取込【残】 ④統合収滞納関連・・・本紙で吸収 ⇒求める要件は変わらないが最終的には機能・帳票要件に反映が必要【残】</p> <p>③については今後の整理次第。 ④については、機能要件への影響はないため、1.1版確定には影響はなく1.2版（仮名）以降への持越しが妥当と判断</p> <p>【11/29記入】 ③指定都市向け機能要件 デジタル庁が示すスケジュールに合わせて、対象要件の分類を行い、デジタル庁へ提出済み。政令市の整理結果を受領後、令和6年2月に仕様書反映を行い、分科会・WTにて構成員に確認いただく予定。 ④統合収滞納関連 令和5年9月末に公開されたデータ要件・連携要件標準仕様書と機能・帳票要件との整合性を確認。確認結果を標準仕様書1.2版（案）に反映し、分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。</p>	事務局	R. 6. 3. 31		
24	仕掛	R. 5. 3. 20	第5回 検討会	機能・帳票要件	R6年秋ごろに向けてマイナンバーカードと保険証の一体化に関する制度改革が予定されている。 後期高齢支援システムでは被保険者証の再発行機能などを有している関係で影響が見込まれるため、当該制度改革の内容を標準仕様書に反映する必要がある。	<p>【3/20記入】 現時点、当該制度の取り扱いについては詳細について検討がなされている段階にあり、1.1版時点では反映することができない。実際にシステムの稼働が求められるのはR6年度となるため、1.2版（仮名）以降への持越しが妥当と判断</p> <p>【11/29記入】 対応方針を分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。</p>	事務局	R. 6. 3. 31		

No.	対応状況	発生日	起票元	資料	懸案・課題	状況・回答	調整担当	期限	完了日	備考
25	未着手	R.5.3.20	第5回 検討会	標準仕様書(本紙)	特定健診業務については国保の検討の中でサブシステム化を行う検討がなされている。機能・帳票要件への直接的影響はないと想定しているが標準仕様書(本紙)で規定している健康管理事業に関する内容について見直す必要がないかを確認する必要がある。	【3/20記入】 現時点、健康管理事業の取り扱いについては方針が整理されるまでの対応を標準仕様書(本紙)に記載しているため1.1版での取込は必要ない。内容が整理された後、反映するとして1.2版(仮名)以降への持越しが妥当と判断 【11/29記入】 特定健診の標準仕様書の検討待ち。仕様書の提示タイミング、内容次第では、次版に見送る可能性がある。	事務局	未定		
26	仕掛	R.5.11.29	第6回 ベンダ分科会、市区町村WT	機能・帳票要件	障害者自立支援システムへのデータ連携について障害者自立支援システム側では、政令市の場合「必須機能」、一般市の場合「標準オプション機能」として規定されているが、現在の後期高齢支援システムの標準仕様書では、「政令市の場合、必須機能」という条件は設けていない。(全て標準オプション機能として規定) 政令市の場合に「必須機能」とすると、政令市要件全体の取り扱いについて見直しを行う必要が発生するため、後期高齢としては「標準オプション機能」のままの取り扱いとする。 障害者自立支援システムとは差が生じることになるが被保険者マスタの連携についてはもともと、広域標準システムに機能があることから、後期高齢支援システムとしては標準オプションのままで問題ないと考えている。	【11/29記入】 標準仕様書1.2版(案)に反映し、分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。	事務局	R.6.3.31		
27	仕掛	R.5.11.29	第6回 ベンダ分科会、市区町村WT	機能・帳票要件 業務フロー	同一機能要件で実装必須と標準オプションがある場合、機能IDを分ける必要があるとデジタル庁より回答があったため、機能IDを分割する。	【11/29記入】 標準仕様書1.2版(案)に反映し、分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。	事務局	R.6.3.31		
28	仕掛	R.5.11.29	第6回 ベンダ分科会、市区町村WT	機能・帳票要件	国保において、業務フローについては「実際の各地方自治体における業務フローを拘束するものではない」と規定しているにも関わらず、標準対象と示しているのは不整合である、とのご意見を受けて、他業務に合わせて「参考」の扱いと修正する方針とされた。後期においても同様の記載となっているため、見直しを行う必要がある。	【11/29記入】 標準仕様書1.2版(案)に反映し、分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。	事務局	R.6.3.31		
29	仕掛	R.5.11.29	第6回 ベンダ分科会、市区町村WT	機能・帳票要件	標準仕様書に対して市区町村から問い合わせをいただいた中で、規定している要件の内容に語弊が生じる部分について、仕様書を修正する。	【11/29記入】 標準仕様書1.2版(案)に反映し、分科会、WT資料にて提示。 意見照会において特段の問題がなければ、クローズとする。	事務局	R.6.3.31		